



編集 SEF事務局  
 連絡先 03-3358-4434  
 URL: <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「日本文化としての漢字」 村瀬 禎男 理事長

第2次大戦後間もなく、日本では漢字を廃止し、かなやローマ字にすべしとの議論がありました。ある大手商社では社内文書をカタカナにする運動をしていたようです。海外支社との連絡に電報が主流であった頃にはその考えにも一理はあったかも知れません。

今でもコンピュータのソフト開発技術者の一部には使用する漢字数を極端に減らすべきとの考えを持つ人もいます。確かにコンピュータは英語の発想でソフトは形作られていますし、面倒なフォントの取り扱いが不便なのでしょう。

しかし、日本語ワープロの発展でコンピュータでの日本語の取扱いはそれほど問題ではなくなり、FAXやe-mailの普及で障害は大幅に削減されていると思います。

言語と文字の多様性が夫々の民族の文化と、それを支える心のあり方を保持していると思います。日本人も世界に誇れる日本の文化をもっともっと大切にしたいものです。

4月度理事会より

<p>1、平成19年度収支報告及び事業報告書(案)                  3月末締めでの収支計算書が事務局より報告されました。大型事業の減少で収入は前年度を下回りました。詳細は事業報告書(案)と合わせて総会にて報告されます。</p> <p>2、平成20年度事業計画及び予算案                  先月に引続き内容の詰めを行いました。収入は前年度を上回る見込みです。本件も総会の審議事項として上程の予定です。</p>	<p>3、「放射性物質関連機器コンサルティング」                  新規事業案件として上程され前向きに取組む方針が確認されました。</p> <p>4、報告事項                  (1) 都税均等割り免除の件                  (2) 登録会員3名入会の件                  (3) SEFサロン会計報告                  (4) 新規事業要員確保の件 等</p>
--	---

事業報告 業務受託事業部会の活動に関する近況 担当役員 新家副理事長

\* 事業活動をより強化するため昨年度より会員の増強をはかり、正会員および登録会員合わせて14名の方々が入会され、総勢21名を環境施設関連グループ16名、プラント関連グループ4名に分け夫々にチームリーダーを配し、積極的に活動しております。

\* 上記の成果として、環境施設関連では中央官庁外郭団体、地方自治体および民間企業等から引合が寄せられており、近く成約が期待される物件もあります。  
 プラント関連でも民間企業からの引合が数件寄せられており適任者の選定に注力中です。

\* 職業能力開発総合大学校への講師派遣については「SEFたより第32号」でお伝えしました3講座に加え「プログラミング実習」と「計算機実習」の2講座について講師委託要請があり現在適任者を選定中です。上記2講座を受託すれば平成20年度下期は5講座をSEFが担当することになります。

通常総会の開催

第6回通常総会が下記要領で開催されます。  
 開催日時 平成20年6月18日(水) 14時~  
 議題 第6期(平成19年度)事業報告  
 第7期(平成20年度)事業計画  
 その他  
 正会員の方は全員出席を予定して下さい。開催場所その他詳細は追って案内します。

SEFサロン

第44回SEFサロン案内  
 開催日時 5月28日(水)18時~  
 開催場所 有楽町 La Stella  
 演題 「中東分割」  
 副題 「アラビアのローレンス」  
 講師 長川 洋氏  
 (元住友商事中東支配人)

会員動向 4月度

登録会員入会 3名の方が新規入会されました。入会を歓迎します。  
 中村輝夫さん(64歳) 専門 機械 得意分野 焼却炉  
 内山洋二郎さん(63歳) 専門 電機 得意分野 工場電機設備  
 石橋一紘さん(64歳) 専門 機械 得意分野 生産管理

5月1日現在の会員数  
 正会員 32名  
 登録会員 26名  
 賛助会員 3社